

## 希望に向かって

たなか りゅうこ  
田中 滝子

私の希望は、自分が弾くヴァイオリンで幼稚園や保育園、病院や老人ホームを回り皆んなのわかる童謡や歌を演奏して聴いてもらう事です。

私は幸せな事にヴァイオリンが弾けます。小学2年の時にピアノからヴァイオリンに変わりました。父母がおひな様の代わりにねと言って買ってくれたヴァイオリンです。毎日レッスンが始まりました。学校から帰ってきてから毎日2～3時間の練習でした。音階、練習曲、曲と3種類がおもでした。音階に約1時間、練習曲に1時間、曲に1時間とだいたい1日最低3時間のレッスンでした。その日の気分でレッスンがいやな時もあり、チョンボしたりしてあまりきちんと練習していなかったと今、思います。30分くらいで終わった日もありました。

話は変わりますが、高校2年の時に発病してしまいました。私の年度から共通一次が始まってしまい、受験の波に押されてしまいました。ヴァイオリンと勉強とで5教科になってしまい、1週間眠らず勉強してしまいました。その結果食欲もなくなり眠くならなくなってしまいました。授業も先生の言う事を一言ものがすまいとノートに書いたりしていました。

その頃から幻聴が始まってしまいました。声が聴こえてくるのです。その声と楽しく心の中で会話をしたり、その声の通りに行動してしまったりしました。

その当時は自分自身病気と認めたくなく、薬も拒否したりして姉を困らせたものです。ですが今では服薬の大切さも理解してきちんと薬を飲んでいます。音楽療法の大切さも学びました。

私はやはり自分の人生において音楽はなくてはならないもので、音楽と共に生きていくと言っても過言ではありません。

これからの私は、残された時間を大切にしてこの希望に向かって努力していきたいです。

まだ小さく生のヴァイオリンの音を聴いた事がない子供さんや、入院していて外に出られないでいる方々、お年を召された方々に少しでも多くの方に私の弾くヴァイオリンを聴いてもらって心いやす事ができたらどんなにステキなことでしょう。